

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和5年9月】

■調査概要（データ対象期間：令和5年9月1日～9月30日）

○調査期間：令和5年9月29日～令和5年10月23日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業17企業、製造業15企業、卸売業12企業、小売業20企業

飲食業14企業、サービス業36企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計114企業>

○調査項目：9月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DIはプラス幅が縮小し、水準DIはマイナス幅が拡大した

1. 業況判断

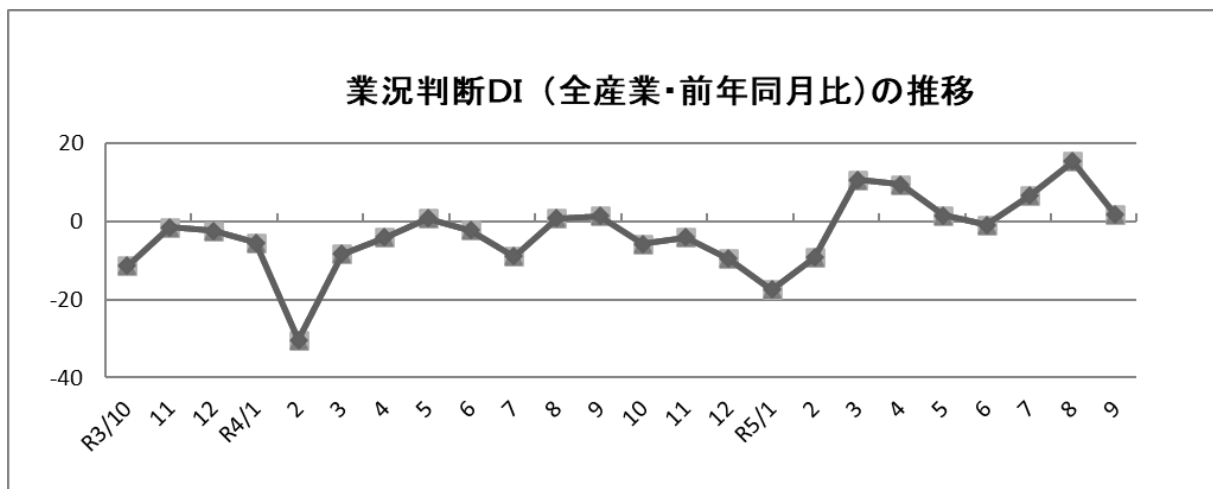
- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(15.4)より13.7ポイント下降し、1.7となった。業種別では、飲食業、サービス業はプラス幅が縮小し、製造業はプラスから0になった。小売業はプラスからマイナスに転じ、卸売業はマイナス幅が縮小した。建設業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月(▲2.6)より3.6ポイント下降し、▲6.2になった。業種別では、飲食業はプラス幅が縮小し、小売業はプラスからマイナスへ転じた。サービス業はマイナスからプラスへ転じ、製造業、建設業はマイナス幅が縮小した。卸売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	22.8 (31.6)	56.1 (52.2)	21.1 (16.2)	↓ 1.7 (15.4)	18.4 (22.2)	57.0 (53.0)	24.6 (24.8)	↓ ▲ 6.2 (▲ 2.6)
建設業	0.0 (5.6)	76.5 (66.6)	23.5 (27.8)	↓ ▲ 23.5 (▲ 22.2)	0.0 (0.0)	76.5 (72.2)	23.5 (27.8)	↑ ▲ 23.5 (▲ 27.8)
製造業	20.0 (44.4)	60.0 (33.4)	20.0 (22.2)	↓ 0.0 (22.2)	20.0 (22.2)	53.3 (44.5)	26.7 (33.3)	↑ ▲ 6.7 (▲ 11.1)
卸売業	25.0 (27.3)	41.7 (36.3)	33.3 (36.4)	↑ ▲ 8.3 (▲ 9.1)	16.7 (27.3)	50.0 (36.3)	33.3 (36.4)	↓ ▲ 16.6 (▲ 9.1)
小売業	10.0 (35.0)	65.0 (55.0)	25.0 (10.0)	↓ ▲ 15.0 (25.0)	10.0 (30.0)	50.0 (45.0)	40.0 (25.0)	↓ ▲ 30.0 (5.0)
飲食業	71.4 (78.6)	21.5 (14.3)	7.1 (7.1)	↓ 64.3 (71.5)	50.0 (64.3)	35.7 (28.6)	14.3 (7.1)	↓ 35.7 (57.2)
サービス業	22.2 (19.4)	58.4 (72.3)	19.4 (8.3)	↓ 2.8 (11.1)	19.4 (11.1)	63.9 (66.7)	16.7 (22.2)	↑ 2.7 (▲ 11.1)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計

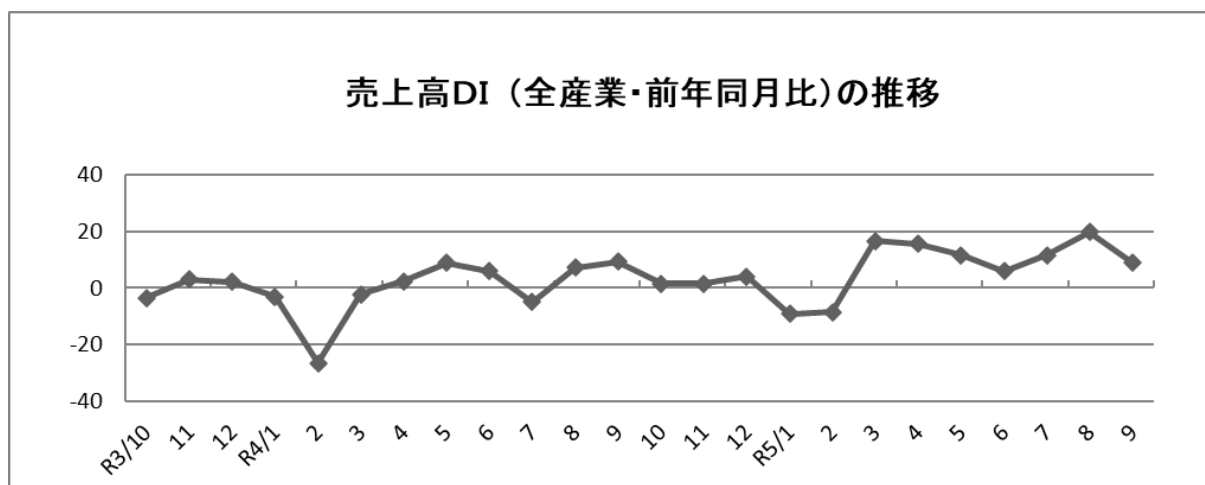


2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月(19.7)より10.9ポイント下降して、8.8となった。業種別に見ると、製造業はプラス幅が拡大し、飲食業はプラスのまま横ばいであった。サービス業はプラス幅が縮小し、卸売業、小売業はマイナスに転じた。建設業はマイナス幅が縮小した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R4年9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全 体	9.4	1.6	1.6	4.0	▲ 9.2	▲ 8.4	16.6	15.5	11.7	6.0	11.6	19.7	8.8
建 設 業	▲ 10.5	▲ 20.0	5.0	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 27.7	▲ 10.6	▲ 29.4	▲ 31.5	0.0	▲ 23.5	▲ 27.7	▲ 17.6
製 造 業	15.8	0.0	▲ 5.0	11.1	▲ 5.5	▲ 12	5.0	30.0	5.5	26.3	15.7	5.5	6.7
卸 売 業	58.3	9.1	27	16.7	22.2	0.0	33.3	▲ 12.5	0.0	13	8.3	9.1	▲ 8
小 売 業	4.2	4.8	5	4.2	▲ 39.2	▲ 13.6	39.2	4.8	30.4	▲ 4.5	8.3	40.0	▲ 15.0
飲 食 業	20.0	30.8	▲ 6.6	7.2	23.1	▲ 23.1	33.4	25.0	53.8	16.7	53.8	64.3	64.3
サービス業	0.0	0.0	▲ 2.7	10.5	▲ 7.9	8	15.0	36.9	13.5	0.0	13.9	25.0	19.4

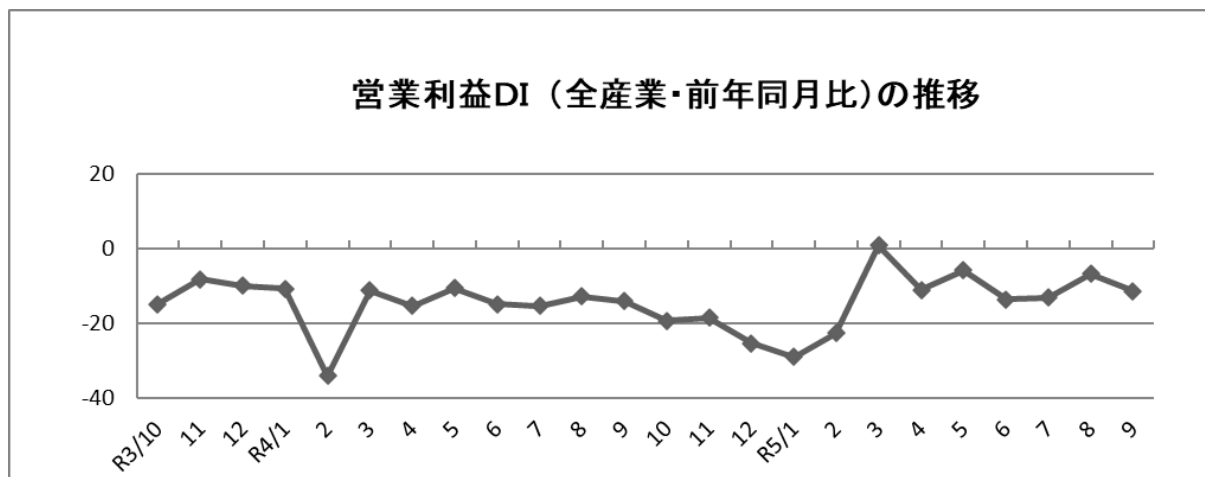


3. 営業利益DI（前年同月比）

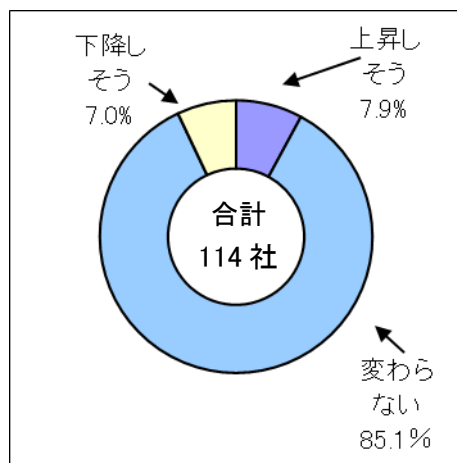
○全産業合計の営業利益DIは、前月(▲6.8)より4.6ポイント下降して、▲11.4となった。サービス業はプラスのまま横ばいで、飲食業はプラスから0になった。小売業はプラスからマイナスに転じ、製造業、建設業、卸売業はマイナス幅が縮小した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R4年9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全 体	▲ 14.1	▲ 19.4	▲ 18.5	▲ 25.4	▲ 29.1	▲ 22.7	0.8	▲ 11.2	▲ 5.9	▲ 13.6	▲ 13.2	▲ 6.8	▲ 11.4
建 設 業	▲ 26.3	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 45.0	▲ 21.1	▲ 33.3	▲ 15.8	▲ 35.3	▲ 36.8	▲ 20.0	▲ 29.4	▲ 38.8	▲ 29.4
製 造 業	▲ 36.8	▲ 36.9	▲ 35.0	▲ 61.1	▲ 50.0	▲ 35.3	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 16.7	▲ 15.8	▲ 26.3	▲ 33.4	▲ 13.3
卸 売 業	25.0	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 11.1	▲ 23.1	11.1	▲ 25.0	▲ 40.0	0.0	0.0	▲ 18.2	▲ 16.7
小 売 業	▲ 4.2	▲ 28.6	▲ 9.6	▲ 12.5	▲ 52.2	▲ 13.7	17.4	▲ 23.8	26.1	▲ 18.2	▲ 12.5	5.0	▲ 30.0
飲 食 業	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 26.7	▲ 28.6	▲ 30.8	▲ 38.4	▲ 22.2	▲ 16.7	0.0	▲ 16.6	▲ 7.7	28.6	0.0
サービス業	▲ 7.7	▲ 5.0	▲ 16.2	▲ 5	▲ 13.2	▲ 11.1	7.5	10.5	2.7	▲ 8.1	▲ 5.6	5.5	5.5



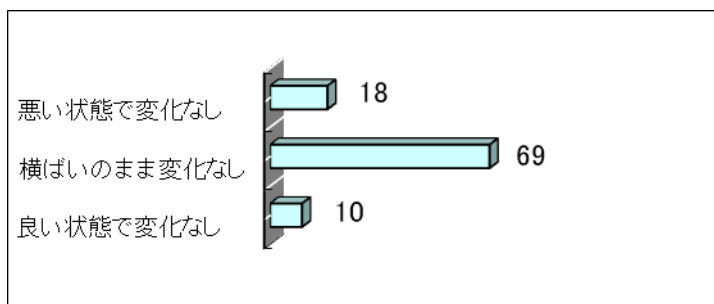
◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和5年10月～令和5年12月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ5.8ポイント減り7.9%、「下降しそう」が1.0ポイント増え7.0%となった。業種別の見通しDIは建設業(5.9)、製造業(0.0)、卸売業(▲33.3)、小売業(0.0)、飲食業(7.2)、サービス業(8.3)であった。

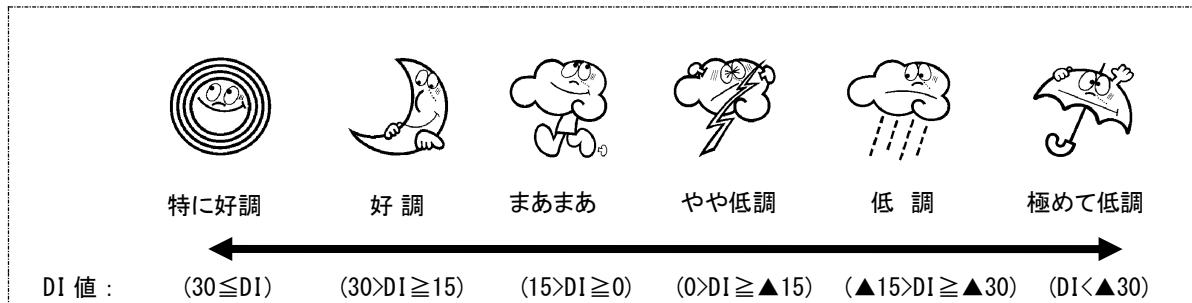
➡「上昇しそう」では「受注物件が少し増えたため」「新築物件が少しずつ出てきたため」(建設業)「秋期は繁忙期のため」(製造業)「旅行客が増えそうなため」(クリスマスなど洋菓子業界は繁忙期に入るため)(小売業)「地元のお客様に加えて観光客の来店も引き続き期待できるため」(秋の観光シーズン到来のため)(飲食業)「昨年度に比べ取引先のIT投資が見込めるため」「インバウンドの勢いが加速しているため」「予約状況が良いため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「本年度発注工事の70%が発注済みとなったため」(建設業)「異常気象による野菜高騰により仕入が高く利益がないため」「気候が暑過ぎで来客が少ないため」「価格改定のため」「資材価格や原材料価格をはじめとするあらゆるコストが上昇しており、生産に慎重姿勢が見られるとともに自社の運営コストも上昇が続いているため」(卸売業)「食材の値上げ季節食材の不作のため」(飲食業)といった声が寄せられた。

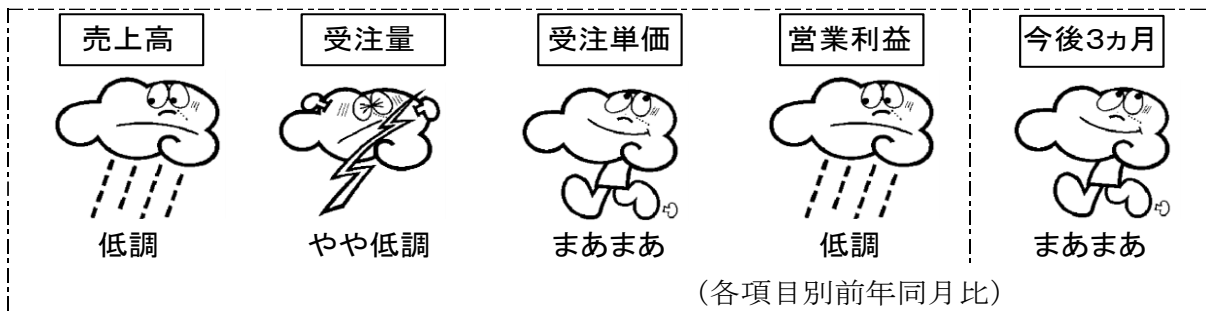


業種別景況

<D | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	R4年9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	▲ 10.5	▲ 20.0	5.0	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 27.7	▲ 10.6	▲ 29.4	▲ 31.5	0.0	▲ 23.5	▲ 27.7	▲ 17.6
受注量	▲ 15.8	10.0	0.0	▲ 30.0	▲ 21.0	▲ 27.8	▲ 21.0	▲ 23.5	▲ 21.1	▲ 15.0	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 11.7
受注単価	▲ 5.2	▲ 15.0	0.0	▲ 5.0	▲ 5.3	▲ 16.7	▲ 5.2	0.0	▲ 10.5	0.0	▲ 5.9	5.6	5.9
営業利益	▲ 26.3	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 45.0	▲ 21.1	▲ 33.3	▲ 15.8	▲ 35.3	▲ 36.8	▲ 20.0	▲ 29.4	▲ 38.8	▲ 29.4
見通し	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 5.2	▲ 5.5	0.0	5.9	5.3	5.0	5.9	5.5	5.9

<経営者の目・見方・e t c >

鉄工

・先月と同様であった。業者間で受注量にばらつきが出ている。

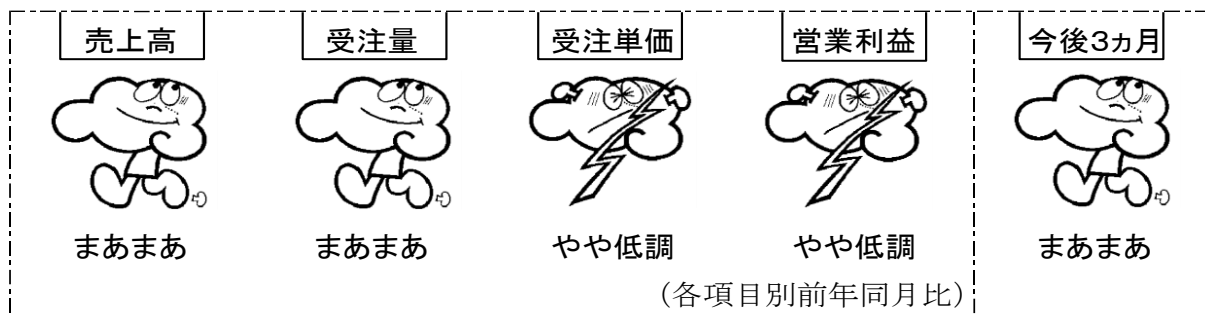
総合建設

・長野県の公共事業の発注率が70%を超え、残りわずかである。補正予算による発注を期待している。

土木工事

・インボイス制度導入や給与所得控除見直しなど増税が続き景気回復は難しい。

2. 製造業



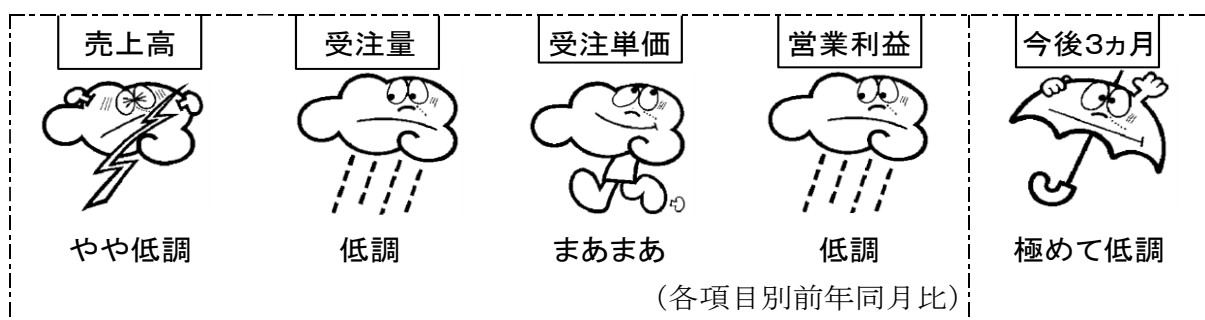
<経営者の目・見方・e t c>

- | | | |
|----------|--|-------------------------------------|
| 精密機器組立 | | ・受注は回復傾向ではあるが国際情勢が不安定であり、先行きは心配である。 |
| 小型情報機器組立 | | ・最近の話では、どこも受注が少ないようだ。 |
| 金属塗装 | | ・円安をはじめ原材料、燃料高の状況が続いている。 |

【項目別DIの推移】

	R4年9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	15.8	0.0	▲ 5.0	11.1	▲ 5.5	▲ 11.7	5.0	30.0	5.5	26.3	15.7	5.5	6.7
受注量	15.8	▲ 15.8	▲ 5.0	▲ 16.6	▲ 27.8	▲ 11.7	▲ 5.0	5.0	5.6	5.3	▲ 5.3	5.5	0.0
受注単価	15.8	21.1	20.0	11.1	16.6	23.5	10.0	25.0	16.6	21.0	26.3	16.7	▲ 6.7
営業利益	▲ 36.8	▲ 36.9	▲ 35.0	▲ 61.1	▲ 50.0	▲ 35.3	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 16.7	▲ 15.8	▲ 26.3	▲ 33.4	▲ 13.3
見通し	0.0	0.0	▲ 5.0	▲ 27.7	22.2	0.0	▲ 25.0	▲ 15.0	5.5	▲ 15.8	▲ 5.2	16.6	0.0

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	R4年9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	58.3	9.1	27.3	16.7	22.2	0.0	33.3	▲ 12.5	0.0	12.5	8.3	9.1	▲ 8.3
販売客数	25.0	9.1	▲ 9.1	0.0	0.0	▲ 7.7	11.1	▲ 25.0	▲ 10.0	12.5	▲ 8.4	▲ 18.2	▲ 25.0
販売客単価	50.0	36.4	18.2	8.4	22.2	0.0	33.3	0.0	10.0	12.5	25.0	27.3	8.3
営業利益	25.0	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 11.1	▲ 23.1	11.1	▲ 25.0	▲ 40.0	0.0	0.0	▲ 18.2	▲ 16.7
見通し	0.0	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 16.7	0.0	▲ 7.7	0.0	12.5	▲ 10.0	0.0	0.0	▲ 9.1	▲ 33.3

<経営者の目・見方・e t c>

- | | | |
|------|--|---|
| 土産品 | | ・順調に売上が伸びている。短いシルバーウィークであったが観光地には多くの方々が訪れ、土産品を購入されていた。 |
| 金属製品 | | ・高炉メーカーは強気姿勢が続いている。自動車、半導体関連は依然不透明感が強く、年末までは横ばい推移が大方の見解である。 |

製菓材料卸売
木材・建材

- ・値上げが続いている状況のためかなり厳しい。
- ・一部海外から木材を輸入しており、円安の進行による仕入価格の上昇が懸念材料である。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	R4年9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	4.2	4.8	4.8	4.2	▲ 39.2	▲ 13.6	39.2	4.8	30.4	▲ 4.5	8.3	40.0	▲ 15.0
販売客数	4.1	0.0	▲ 4.8	▲ 4.1	▲ 39.1	0.0	4.4	▲ 9.5	17.4	▲ 9.1	4.1	20.0	▲ 20.0
販売客単価	0.0	▲ 4.8	0.0	12.5	▲ 26.1	13.6	0.0	▲ 19.1	26.1	9.1	25.0	15.0	▲ 10.0
営業利益	▲ 4.2	▲ 28.6	▲ 9.6	▲ 12.5	▲ 52.2	▲ 13.7	17.4	▲ 23.8	26.1	▲ 18.2	▲ 12.5	5.0	▲ 30.0
見通し	▲ 4.2	▲ 4.7	9.5	▲ 16.6	▲ 8.7	0.0	17.4	▲ 4.8	0.0	13.7	8.3	0.0	0.0

<経営者の目・見方・etc>

燃料

- ・国の施策で、現状を打破するような補助金等があると嬉しい。また、為替相場の動向が非常に気になる。

印章

- ・個人のお客様のご利用が減ってしまっているが、インボイス制度対応のゴム印の受注がそこそこあったお陰で前年並みをキープできた。インボイス制度対応のシャチハタスタンプは、メーカーの想像をはるかに超えた注文が入ったそうで、通常1週間の納期が1ヶ月ほど掛かっている。お客様には大変ご迷惑をお掛けしてしまった。

洋菓子店

- ・売上は横ばいではあるがやや悪い。10月以降は期待しているが横ばいになると想定される。当店は積極的に地域のイベントに出店する予定だ。

おやき

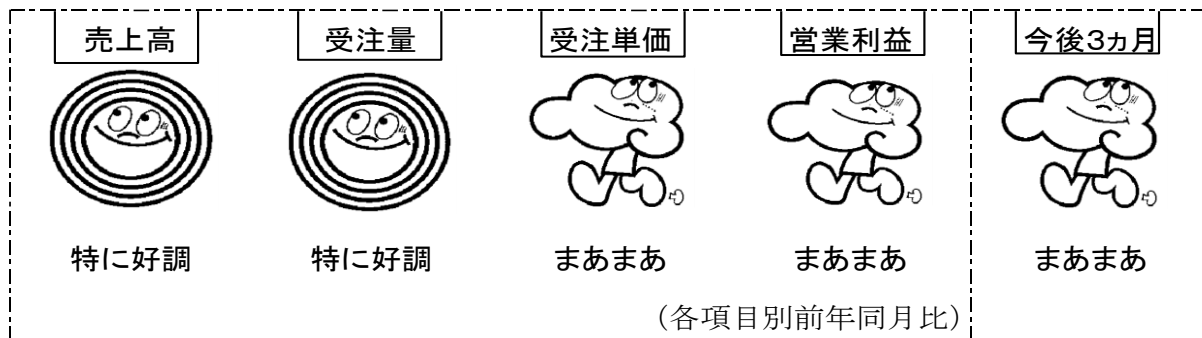
- ・比較的落ち着いている日が多かった。暑さで農作物に影響が出ている。また、輸入材料は価格の高騰が止まらない。

生鮮食品

- ・あまりの暑さにお客様の足が遠のいている。

- ・毎日暑い日が続き、観光客も多く、連休、敬老の日と忙しかった。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	R4年9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	20.0	30.8	▲ 6.6	7.2	23.1	▲ 23.1	33.4	25.0	53.8	16.7	53.8	64.3	64.3
販売客数	13.3	23.1	0.0	▲ 7.1	23.1	▲ 23.1	55.6	25.0	38.4	25.0	23.1	57.2	57.2
販売客単価	▲ 6.7	7.7	13.3	▲ 28.6	7.7	▲ 15.4	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7	23.1	28.6	7.1
営業利益	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 26.7	▲ 28.6	▲ 30.8	▲ 38.4	▲ 22.2	▲ 16.7	0.0	▲ 16.6	▲ 7.7	28.6	0.0
見通し	6.7	▲ 7.7	13.3	0.0	0.0	30.8	33.3	25.0	23.1	25.0	0.0	7.2	7.2

<経営者の目・見方・e t c>

郷土料理

・人の動きが激しくなってきた、外国からのお客様も戻ってきたようだ。売上もあるが人件費も増えて利益はほどほどである。

食堂

・残暑が厳しく、平日昼の来客数も減少していたが、連休は遠方の親族の集まりが多く見られ忙しかった。

・昨年に比べ好況であった。

料理

・大きな行事、連休等が重なった。






寿司

・松茸が不作である。不作というより全く出てこない。過去にも何度かあったが、こんなにもひどいのは初めてだ。季節の物がその時期に出てこないと色々なことが狂ってしまう。今世を象徴しているようだ。

中華料理

・例年9月は宴会が少ない傾向であるが、今年はコロナ禍が明けたためか大人数での予約が多くあった。セイジ・オザワ松本フェスティバルをはじめ、街中での大道芸フェスや松本城でのビアフェスなど多くのイベントがあり、街が賑やかで本来の松本らしさが戻ってきて嬉しい。相変わらず連休になると学生アルバイトの確保が難しく、もう少し営業をしたいところだが、従業員や我々の疲労を考えると早仕舞いする日が多くなる。

6. サービス業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月
				
好調	まあまあ	好調	まあまあ	まあまあ

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	R4年9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	0.0	0.0	▲ 2.7	10.5	▲ 7.9	8.3	15.0	36.9	13.5	0.0	13.9	25.0	19.4
販売客数	▲ 2.6	7.5	5.4	▲ 5.2	▲ 7.9	8.3	2.5	28.9	8.1	0.0	11.1	8.3	11.1
販売客単価	5.1	7.5	10.8	5.2	13.2	11.1	10.0	23.7	10.8	5.4	11.1	19.4	19.4
営業利益	▲ 7.7	▲ 5.0	▲ 16.2	▲ 5.2	▲ 13.2	▲ 11.1	7.5	10.5	2.7	▲ 8.1	▲ 5.6	5.5	5.5
見通し	5.1	2.5	▲ 5.4	▲ 5.2	▲ 5.3	8.3	2.5	15.8	10.8	24.3	13.8	13.9	8.3

<経営者の目・見方・etc>

ソフトウェア

- ・取引先企業で関心の高い課題のひとつと言えば事業のサステナビリティだが、中でもなかなか表面化しにくいのが社内システムの問題である。企画から設計、実装、運用まですべてにスキルのある人材が高給を求めて都会に出てしまう。既存システムをいかに継承するかがベンダーにとっても課題だが、ITへの投資を渋る経営者は多く解決策は見えていない。

旅館

- ・取引が当社だけの小規模事業者が、適格請求書発行事業者の登録はしないとのこと。その対応が課題である。

リラクゼーション

- ・値上げをしたが、以前と変わらず来店してくださるお客様がいるのでありがたい。

ペットサービス

- ・来店数、売上高ともに前年並みであった。9月は連休が2回あったのでホテルの利用が多かった。10月のホテルの予約も伸びている。

獣医

- ・業績は良好で推移している。3年程前から月1回、循環器系の診断と治療で東京から専門医が来ている。1頭1時間、1日に数頭診ていただいている。業績にも貢献している。

宿泊

- ・夏に引き続きインバウンド含めた観光客の増加で好調を維持。繁忙期が続くため、従業員の業務増が当面の課題である。

ホームクリーニング・

- ・日本の四季が、特に秋が二季に(夏と冬)になりつつあり、気候変動が経済にも影響しそうだ。

リネンサプライ業

- ・台風も少なく天候も安定していて入込も増えた。相変わらず人手不足だが、インバウンドも好調でコロナ禍前よりも売上は伸びている。あまりに雨が降らないため、近くの山小屋は水不足に悩まされている。途中のダムも今までに見たことのないくらい貯水量が減っていて不安だ。

観光旅館

- ・観光客もビジネス客もコロナ禍前に戻ってきた。特にビジネス客が多い。

温泉旅館

- ・9月中も暑い日が続いたが、昨年並みの客数で売上高は僅か前年を上回った。

タクシー

- ・タクシーが不足している。

ホテル

- ・購入品の単価はまた上がっている。納期は大分良くなってきている。

機械設計

